

参加費
無料

ろう・難聴児の早期支援講演会

親子で学ぶ手話

～家庭ではじめるコミュニケーション～

ろう・難聴児は、幼少期から手話を使うことで、言語を使う能力を高めることができます。
また、家庭内での手話使用は子どもに安心感と一体感を与えるだけではなく、子どもの自尊心や社会的スキルも高めます。
保護者と子どもと一緒に手話を学ぶことで、家庭内のコミュニケーションが向上するヒントを講師のお話を元に一緒に考えてみませんか？

概要

- ✓ 手話を家族や支援者が学ぶ重要性
- ✓ 実際のコミュニケーション方法の例
- ✓ 効果的な視覚でのコミュニケーション

奮ってご参加ください！

- ろう・難聴・ろう重複の乳幼児のお父さん・お母さん・ご家族
- ろう学校・保育園・幼稚園の先生
- ろう・難聴・ろう重複児の支援に興味を持っている方

日時

2024. 12.14 土

14:00～16:30 (受付13:30～)

定員

要：事前申込み

オンライン配信：500名

対面：250名（託児15名）

先着順となりますので、早めにお申し込みください。

お申込み

右記QRコードよりお申し込みください→

※託児申し込みは先着順、定員に満たなくても11月27日(水)にしめきります。
参加申し込みフォームからご希望を受け付けます。
お早めにお申し込みください。

講演のお申し込み



講師

トッド・チュベック
Dr. Todd Czubek

15年間ろう学校で教育を勤め、現在は
ボストン大学ウィーロック教育人間開発部 ろう者学専攻
上級講師、コダ。物腰の柔らかいお話には定評がある。
〈研究テーマ〉
・アメリカ手話（ASL）における談話能力（語り合う力）
の研究
・談話能力が学業成績や第二言語習得に与える影響
・ろう児にとって、手話使用や手話を使いこなす力が与える
作文の構成力や様々な学習への効果

コメンテーター

松崎丈

（宮城教育大学 教育学部 教授）

ディスカッサント

池田亜希子

（明晴学園 教諭）

- お子さん連れ歓迎！
- 託児室、授乳スペースあります
- 手話通訳、文字通訳あり

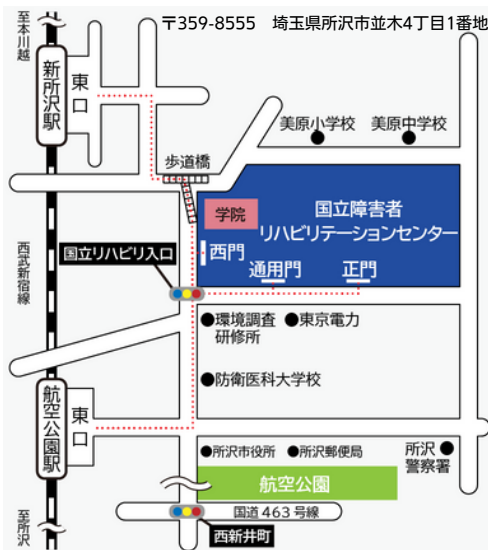
会場

●オンライン配信：Zoomにて配信

●対面：国立障害者リハビリテーションセンター
学院講堂

■西武新宿線「航空公園」駅
又は「新所沢」駅
…徒歩約15分

■本センター敷地内に
駐車場がございます。



お問合せ

✉ 国リハ手話療育班事務局 sleec@rehab.go.jp

【主催】厚生労働科学研究費「難聴児の手話療育体制整備に関する研究」